

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	いきいきっ子クラブむさし		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		2025年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の療育内容について、個別支援計画に従いご利用児の強みや、興味や関心に基づいて成長が図れるよう、職員一人ひとりが考え、話し合い活動内容を考案し実施している。	支援について疑問に思ったことや悩みを、職員間で話しやすいように雰囲気づくりを心掛けている。自分達の考えや意見を出し、他の職員はそれを否定するというよりは、自由に意見を出しより良い支援方法を全員で考えていくようにしている。	支援の方針や考え方に偏りがでないように、第三者の意見を取り入れたり各種研修に参加して、職員一人ひとりのスキルアップを図っていく。
2	ご利用児が安心して楽しく通所ができるように、職員間で話し合い、密に支援を必要とする場合は、個別に支援ができるように他の支援者がフォローに回っている。職員間での連携が取れるようにしている。	ご利用児一人ひとりの特性に合わせた活動を職員間で話し合い、活動後も振り返りながら支援に努めている。利用者さん同士のトラブルが起こった際の対応についても、当事者同士のお互いの気持ちを汲み取りながら支援を行っている。	職員間で日々のご利用児の情報共有や支援会議を行い、職員間での対応策等を確認し、ご利用児の小さなサインも見逃さない支援を図っていく。

3	保護者様との情報共有を密にしながら、良好な関係を築いていき、安心して利用していただけるように努めている。	保護者様にはその日起こった出来事等をその日のうちに伝えるように努めている。どのように過ごしているのか、活動しているのかを分かりやすいように伝えている。	職員間で保護者様へ伝える内容についての情報共有をすることで、送迎をする職員が保護者さんへ伝達しやすいようにしていく。また、保護者さんへ送迎時に直接伝達が難しい場合には電話での連絡を行う。
---	--	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置数は適切だが、送迎が重なる場合など、利用者さんへの対応で職員間の連携がうまくいかない場合がある。	送迎が重なる場合があり、そちらに職員が対応を余儀なくされ、他職員のフォローに回れない時等がある。	送迎の見直しや送迎時の職員の支援体制の確認等を行い効率化を図り、職員が余裕を持ち連携して支援できるようにしていく。
2	放課後児童クラブ、児童館との交流等、地域の他の子どもと活動する機会が多くないこと。	放課後児童クラブや児童館の職員との交流が持てていない。	まず職員間での交流がもてる機会を作り、情報収集やアプローチの方法等を模索していく。
3	保護者会の開催等、保護者同士が交流できる機会が多くないこと。	これまでは感染症対策等に追われ、交流できる場の提供が出来づらい状況になっていた。	感染症に留意しながら、保護者会等各種イベントの開催に向けて前向きに検討をしていく。また、ペアレント・プログラムへの参加の呼びかけと情報発信を積極的に行っていく。